

「福祉の仕事」出前講座

平成 30 年 6 月 27 日 (水)



場 所：菊池北中学校 教室

参加者：菊池北中学校（3年生）56名

講 師：特別養護老人ホーム あさひが丘荘 津田 剛志さん

障害者支援施設 居屋敷の里 森 若葉さん

嶋作 章子さん

6月27日（水）、菊池北中学校で3年生56名を対象に出前講座を行いました。お話をして頂いたのは、特別養護老人ホームあさひが丘荘の介護支援専門員津田さんと、障害者支援施設居屋敷の里 相談支援専門員の森さん、生活支援専門員嶋作さんです。

[津田さん]

認知症のお年寄りと接するポイントは、

- 1 笑顔で接する
- 2 目線の高さを合わせる
- 3 大きな声でゆっくりと低い声を意識する
- 4 否定をせず、まず話を受入れて聞く

施設に入居している方の生活は、私達の支援にかかっていると言っても過言ではありません。私達介護職員はそれだけの使命感を背負い、誇りを持って仕事をしています。今後、皆さんが進路を決めていく際に、介護職が選択肢の一つになっていただけると嬉しく思います。



[嶋作さん]

福祉の仕事をしたきっかけは、身近に障害を持った人がいて、小学校の頃から背負って遊んだり、面倒を見るのが大好きで、大学の時支援を行う中で、人から必要とされる存在になったことのうれしさや人と人をつなぎ、みんなが幸せを感じる事の出来る手伝いができたらいいなと思ったからです。



[森さん]

- ・障がいがある方の人権について
- ・障がいがある方の困り感や関わり方について説明
- ・利用者さんが行っているレクリエーションゲームを紹介

福祉とは、幸せ、よりよく生きること。相手の声に耳を傾け、一緒に考えることが、福祉につながると思う。言葉で表すのが困難な人も沢山います。だから、体で表したりするのを受入れ、理解し言葉をかけることが大切です。